

第四 肅正の實行

其の一 治療工作

各部隊は一九三九年十月一日より討伐配置につき有力匪を求めて討伐行動を開始十年末迄には大なる成果なかりしも逐次匪情判明するに至る特に十一月末樺甸、嫩江、果境地帯に於て第一路軍總司令楊成宇匪約四百名の足跡を発見するや各遊撃隊は之を徹底的に追撃し各地に於て交戦之を撃破し積雪の密林地帯に嚴冬を觀して急追又急追、匪隊に休息の暇を與へず彼等は戦闘による損害の外疲勞と寒氣と敵とのため次第に離散し一九四〇年二月二十三日嫩江近郊に於て楊成宇匪を殲滅せり該匪に対する急追は連續九十余日に及び最初四百を算せし匪隊も最後には楊成宇外二名となり疲勞困憊終に一農家に食を求め農民より帰順を勧告せられたるも彼は千は中国人なり絶対に投降せずと稱し之を拒絶す當時嫩江附近にありし通化地區警察遊撃隊は農民よりの報告に接し直に出動交戦の後之を射殺せり

匪首楊成宇は最後迄投降帰順を肯せず部下二名と共に奮戦壯烈なる戰

死をとげたる武士道的行動は敵ながら賞讃に値するものあり篤く之を葬る

本追撃の爲營口海上警察隊より配屬を受けし飛行機二機は討伐隊に密接に協力し該匪殲滅の爲多大の貢獻をなせり

楊成宇の參謀長たりし方振聲は總司令と分離し吉林省内を彷徨しありしが樺甸県北方地區に於て逮捕せらる

次で同年四月八日第一方面軍司令官亞範も討伐隊の爲殲滅せられ爾後討伐の成果益々向上し匪團を隨所に討滅^す九月に入るや第一路軍警衛旅長朴得範は特別工作隊の謀略に依り逮捕せられ討伐當初三千余を算せし匪團も九月末五百内外となる此の間特別工作隊及び討伐隊に帰順投降せるもの千數百名を算す

肅正第二期に入るや匪團は我討伐を免るる爲三十名以下の小群に分散し吉林通化省境方面より逐次間島吉林牡丹江省方面に逃避するの徵候ありしを以て直轄遊撃隊を解消し地區討伐隊に全兵力を配屬し特に通化地區討伐隊の兵力を抽出して間島地區の兵力を増強す

各地匪討伐隊は匪情に即應し小部隊の遊撃隊多數を編成し晝夜を分たす討伐を続行せると治安思想工作の進展に依り一九四〇年冬期に於ける匪魁の越冬準備は妨害せられ彼等の企圖せし潜伏戦略を実施し得ず食を求めて所在を彷徨し討伐隊は之を求めて攻撃十二月八日氣泊湖東側地區に於て第三方面軍司令陳翰章を射殺、翌一九四一年一月二十日第二工作隊の手に依り龔光一モスコイ共産大學出身にして楊成宇の秘書處長一を捕虜せしめ次で三月八日樺甸教化県境附近に於て第一路軍副司令魏敬民を射殺す

各討伐隊及び特別工作隊は死力をつくして金日成匪の討滅を策せしも常に彼は我包圍網を巧に脱逸し終に蘇連領に逃走す

斯くて討伐担任地區内の匪賊の大部を討滅し該方面の治安全く安定し一九四一年三月末を以て大成功裡に治安肅正を完成せり

本討伐間補給輸送の爲協和會及行政機關の努力に依り地區内民衆を以て輸送奉公隊を編成し人力に依る補給を実施す討伐地域内には密林多く敵匪は我急追を免るゝ爲密林内に行動又は潜伏せしを以て車輛牛馬に

依る輸給困難にして人力に依るの外途なく彼等は特種の本製器具に精
練彈藥を積載し之を肩に担ひ輸送に任じたり即ち地區内民衆の協力も
亦本討伐を成功せしむる為多大の貢獻をなせり
滿軍警を活躍せしむる為匪首を捕殺せる場合の賞金制を採用せしは多
大の效果ありしを認む

其の二 治安工作

行政機關協和會其の他の機關何れも滿洲國の行政機構は治安肅正が其
の第一歩なりとの見地に立ち行政事務は之を従とし各首腦者何れも進
んで第一線に出で民衆を激勵し彼等と共に治安諸工作に全力を傾注せ
し結果多大の效果を上げ治安思想工作と相俟つて治安肅正に劃期的成
果を発揮せり特に警備道路の構築、警備電話の架設、集團部落警備機
械所の建設等は討伐當初に於ては敵匪のケリラ活動により屢々妨害を
受け之が為討伐部隊は勿論行政機關員、協和會員一般民衆等多大の損
害を受けたるも之に屈することなく斷乎として豫定の計畫を遂行せし

は實證に價するものあり

一警備道路の建設補備強化

當方面治安不良にして匪賊の蟠踞地帯となり行政滲透せざる根本原因は道路の不備にあり

即ち京圖線及び奉天—通化鐵道南北に縱貫しあるも其の中間にある白頭山地區は匪道の外道路と稱すべきものなりしを以て兩鐵道を東西に連絡する通化—樺甸—敦化道、通化—蒙江—撫松—安圖—明月溝道、兩鐵道の中間を南北に縱貫する吉林—樺甸—安圖—神武城道—朝鮮内の北鮮振興道路に連絡する為滿洲國側に於て朝鮮内約十三軒を建設す—京圖線と牡丹江—圖們鐵道の形成する三角地帯の主として山頂を連する明月溝—春陽道を増築又は新設し之を根幹として數多の警備道路を完成せり

新設道路の路線決定は治安肅正開始後速かに実施すべく指示せるも撫松—安圖間安圖—神武城道の如きは當時敵匪の妨害を受け進捗せず冬季に入り撫松—安圖道は燐蝦匪の誘導により概ね從來ありし匪

0559

道を路線に選定安國、神武城道は朝鮮密輸業者の案内に依り危険と積雪を犯し概ね密輸道路を基準として路線を選定せるものにして何れも責任難念旺盛なる日系官吏の強行偵察の結果なり

斯くして一九四〇年春より同年九月に到る間新設約千二百軒補修強化せるもの約二千軒の大工事を各省競争的に実施し之を完成せり之に要せし費用約千七百万円一道路兩側の清掃伐採費五百万円を含むにして殆んど附近民衆を動員し一日一円の日當を支給し奉仕的に実施せるものなり

道路上の橋梁警備電話等は屢に敵艦の為破壊焼却せられたるを以て各部落警防隊に警備担任區域を與へ事故ありたるときは直に補修せしむることとせり

特に重要な橋梁には橋頭堡を構築し警防隊員を配置せり

二 警備電話

討伐司令部と各地區討伐隊（省所在地）、各地區討伐隊と各縣（地區内）、各縣公署と縣内各要点との電話連絡を実施し得る如く新設

又は補備強化す

尙隣接果相互も連絡し得る如く配慮す

屢に敵匪に切斷せらるる附近には警防隊を配置し警戒すると共に補修材料を附近に集積し置き事故発生するや直に補修せしめたり電線監視の爲警防隊及部落に警備區域を配當整備せしむ

三、集團部落と防備施設の新設補備強化

集團部落の孤立せるものは敵匪の襲撃目標となり直に破壞掠奪せられ自衛團員は武装解除せらるる状況なりしを以て治安肅正の進捗と警備力の充実に即應し集團部落の建設を推進し匪襲を受けたる際互に援助し得る如く連防を願慮し特に日滿軍警察隊、警防隊の配置と連絡を保持せしむることに努めたり

匪襲を受け適時應援し得ざる部落は武装自衛團を配置せず無防備部落とせり

(註 右の如き部落に武装自衛團を配置するときは武器獲得を目的として必ず敵匪の襲撃を受くるを以てなり)

0561

集團部落の建設は部落民の自力を以て実施せしめ其の間武力を以て援護し防備施設は日清軍警防隊又は行政機關に於て其の實施を指導又は援助せしめたり

四 監視所組織の新設強化

狀況特に其の要度に依り討伐隊自ら実施し或は軍警行政機關の指導の下に民衆を使役し実施す而して其の要度に應じ日清軍警察隊又は警防隊を配置す

治安肅正の進捗に應じ逐次増加配置せり

五 清軍警の肅正強化

清軍警中敵匪に内通し我方の狀況を通報し或は彈藥銃器の賣買又は斃傷をなし若くは匪團に合流を策する等不良者ありしを以て各部隊は部内査察を嚴にし不良者を淘汰し対匪戰鬥訓練に重点を指向し必勝の信念を養成し軍紀風紀の確立に努めたり

清軍警察隊員は一般に素質不良にして好人不當兵なる語あり一般民衆は之を嫌惡し敬遠主義を採るの實情にありしを以て討伐肅正間軍

警は民衆を教育愛撫し秋毫と雖も之を犯かさざる様指導し苟も之に反する行為をなせるものは嚴罰を加ふることとせる結果討伐の進捗と共に逐次其の成果向上せり彼等を指導する為には偏賞必罰主義は絶対必要にして特に軍紀廢弛せる部隊に対しては嚴罰主義を以て臨むこと肝要なり

六 自衛團及民衆の訓練強化

行政機關、協和會、民間有力者等協力一致し治安肅正に協力する為の自覺と部落防衛は即國家防衛なりとの感念を興ふることに努めたり之が爲先づ青少年の訓練に重点を指向し多大の成果を發揚せり即ち集團部落警備道路の建設、輸送奉公隊の編成等殆んど民衆の奉仕的勢力の賜と云ふを得べし又銃器を有する自衛團に対しては満軍警と同様の訓練並に強化の方策を採用し成るべく有給自衛團を排し義勇自衛團をらしむる如く指導せり蓋し有給自衛團は素質不良なるもの多く敵匪に乗せらるるもの多かりしを以てなり

七 民生諸工作の實施

肅正計畫に示せる如く行政機關、協和會一体となりて実施し千期の
成果を発揮し治安肅正に貢獻せること多大なり

八 匪民分離

討伐當初に於ては匪賊の報復を恐れ匪の潛入を警告するもの少く又
敵匪の脅迫に依り彼等に糧秣金錢兵器等を與ふるものありしも討伐
の進捗と民衆の訓練並に民生諸工作の實施、思想工作の進展に伴ひ
官意に協力するに至れり

特に共匪は民衆内に根據を有しあるを以て之が討伐は武力のみに依
りて絶対成功せず思想並に民生諸工作の實施に依り民衆を我味方と
し不良者通匪者は一般民衆により指彈せらるる如く施策するを要す
九 糧秣物資彈藥道の遮斷

肅正計畫に示せる諸施策を嚴に實施し治安肅正に多大の貢獻をなす
七 施策の實施

軍其他各機關に於て之を實施し民心把握の爲多大の効果を發揮せ
り

其の三 思想工作

肅正計畫に示せる主旨に基き協和會機構を動員して思想工作の主体とし之に協力する意味に於て或は独自の見地より軍行政機關、特別工作班に於ても思想工作を實施せり

宣傳に於ては映演演劇等の実物宣傳は多大の効果を發揮せり

軍に於て宣傳するも軍醫の現地に於ける行動に依り折角の宣傳を破壞すること多し特に南人は軍醫を見ること蛇蝎の如く彼等を誅求するものなりとの觀念を有しありしを以て南軍醫の討伐行動間宿營費の支払を嚴格に勵行せしめ彼等に絶對迷惑をかけざる様監視を嚴にすると共に民衆を慈育愛撫せしめ軍醫に対する民衆の惡感情除去に努めたる結果軍醫民の融和促進上多大の效果あり民衆は輸送奉公隊等に進んで協力を申出するものあるに至れり

立派なる一の実行は百の宣傳に優ることを実証せり

其の四 特別工作

討伐主任參謀北部中佐は特別工作部長を兼勤し左記特別工作隊其の他を指揮し肅正計畫に示せる主旨に基き工作を実施し対匪情報蒐集、宣傳謀略、帰順工作に多大の成果を發揚せり

一 第一工作隊の行動

長島憲兵官長隊長となり日本憲兵若干名其の他は朝鮮人敢は投降帰順者を以て工作隊及び特設隊を編成し第一期間は主として通化吉林地區内にありて楊成宇、方振聲、魏德民其の他の匪賊に対する工作に従事せしめ第二期以後に於ては間島省方面に移動し主として金日成、魏德民等を目標として工作を実施し多大の成果を發揚せり特に第五營匪の帰順、方振聲、王長勝匪の逮捕其の他匪團に対する宣傳、情報蒐集、分製工作等本工作に負ふ所大なり

二 第二工作隊の行動

警務司田中警備隊長を隊長とし日鮮系警察官若干朝鮮人及び帰順投降或は逮捕せるものを以て工作隊並に特設隊を編成し第一期に於ては間島及び吉林地區に於て金日成、朴得範、陳翰章其の他有力匪團

に對し第二期以後に於ては崔賢、金光其の他に對し工作を實施し多大の効果を発揚せり

第一期末謀略に依り朴得範を逮捕し第三期に於ては金光を捕縛せしむる等匪團の分裂工作、情報蒐集、對匪宣傳に貢獻する所大なり

(註)對匪謀略成功の一例

朴得範逮捕の爲實施せし謀略の概況左の如し

朴得範匪の屬、來襲し来る間島省某部落に鮮人工作員を配置し置き該匪來らは偽て匪團に合流する如く指示す一九四〇年四月某日予想の如く朴得範匪來襲し来るや鮮人工作員は該匪團に合流すること成功す彼は合流後信用を得る爲極めて眞面目に働きありし爲月余にして朴得範の信頼を得彼の當番兵に拔擢せらる該工作員より入團後三箇月始めて秘密に連絡あり無事朴匪團に潜入成功せるを知る

次で該工作員は朴得範より糧秣及若干の彈藥入手方を命令せらる該工作員は朴の信用を増す爲某地点に右糧秣彈藥を持参する様工

0567

作隊に連絡ありしを以て工作隊に於ては要求の如く我韓人工作員をして該物資を輸送匪團に支給す之が爲朴得範は該工作員を従ひ信用之を重用するに至る

次で九月に入るや朴得範は該工作員に更に多量の糧秣物資を輸入手方を命ず即ち該工作員より工作隊に連絡あり九月二十九日夜某時某地に朴得範及び若干の部下を前記物資受領と稱し誘導するにつぎ之を逮捕する如く工作隊に連絡し来る

工作隊に於ては十数名の屈強なる隊員を撰拔し格闘逮捕の基本訓練をなし次で朴匪を誘導し来る地点に酷似せる地形を選び夜間數回に亘り連絡格闘逮捕の訓練を実施し周到なる準備をなしたる後九月二十九日夜所定の地点に至り該工作員の誘導し来れる朴得範及其の部下を一網打盡に逮捕す

三 家裡一育精一教徒の利用

家裡教は政治家商人農民労働者匪賊等有ゆる階層に亘り教徒あり其の團結と相互扶助の精神は宗教上甚だ鞏固にして相互の連絡極めて

迅速なるを特徴とす故に民情の偵知對匪工作特に情報の蒐集に利用せば甚だ有利なり

特別工作部長北郎中佐は自ら滿洲家裡教徒の大先輩瀋陽縣を懐柔し民心の動向匪情の蒐集等特別工作實施上多大の便宜を得たり

(註)家裡教徒の連絡の迅速なる一例

北郎中佐が彼等に何等の連絡なく吉林(討伐司令部所在地)より汽車にて敦化或は延吉方面に向ふ場合家裡教徒は沿線の縣に於て北郎中佐を出迎へ所要の連絡をなすが如き状況にして彼等が如何にして我行動を察知し如何にして之を連絡するや不明なるも其の連絡の迅速なること驚異に値す

四 對匪工作並に匪賊取扱上の參考

ノ 投降又は帰順し來れる者は之を優遇すること

投降又は帰順し來れるものは前非を問ふことなく無条件に之を許可し食糧食料及び被服を與へ優遇すること必要なり投降帰順せざる匪賊は粗衣粗食、討伐隊に追はれ疲勞困憊し投降帰順の意志あるも投

降参順後背斷なる取扱を受け又は殺さるることを懸念し降参しあるもの多し然るに降参投降後優遇せられ且生命を保護せらるることを知るや機を見て投降降参するに至り匪類の團結破壞を招来するものなり

本討伐降参投降し来るものは匪非を問はず無条件に之を許し家郷に帰り度き希望を有するものは証明書と與へ保護を加へ証明書を交付し降参せしめ或は就職を斡旋す

家郷に帰るを希望せず討伐隊と行動を共にせんとするものは特別工作隊の特設隊員として一定の給與を與へ降参工作對匪謀略宣傳情報蒐集等に使用し多大の成果を發揚せり

2 逮捕し之を逆用せんとする匪賊頭目等に対する取扱上の注意事項
逮捕し直に之を取調べるが如きは匪の骨頂なり彼等は逮捕せらるるや一般に死刑を覺悟しあるを以て如何に拷問するも絶対に口を割るものに非ず第一路軍警衛隊長朴得範(鮮人)逮捕後懐柔の爲實施せる状況左の如し

朴得範を逮捕するや延吉につれ来りたるも特別工作班幹部は之に面會せず鮮人工作員を附し朝鮮人料理屋に誘導し約一週間連綿酒と女を興へ彼の軟化するを待ち特別工作部長北部中佐自ら該朝鮮人料理屋に到り朴と面會共に會食宿泊す此の間何等彼を訊問せず其の後數日間様の状態にて料理屋に起居せしむ次で司令部につれ来り特別工作部長と面會せしめ部長より彼に生命を保証するにつき肅正工作に協力する様説得す爾後鮮系工作員をして匪團の状況につき訊問せしめ彼は我に協力の意を示すや特設隊員として敵陣山嶺攻襲の誘導等に任せしむ

執

其の後數箇月を経て冬期に入り崔賢匪^執なる討伐に屈し察安県方面より討伐隊外に逃走し一時所在を失す特別工作部長は朴得範に其の旧部下約三十名を附し輕機二を興へ之を武裝し崔賢匪の索出討伐を命ず

斯くの如き場合に於ては常に我工作員を附せしが本討伐には工作員を附することなく朴得範をして自由に活動せしむる如く配慮せ

り朴得範は勇謀出動崔賢麗を求めて約二週間追接撃し之に打撃を
與へ二十數名を射殺し其の証據として射殺者の耳及び小拳銃二十
數挺を擲棄せり

朴得範を武装し工作員を附することなく自由に行動せしむること
に關しては彼の逃亡をおそれ反対意見多かりしも特別工作部長は
斷乎として自己の責任に於て前記の如く処置せり

後日朴得範の逮捕せる所左の如し

自分は帰順後種々好遇を受け生命は絶対に保証すると特別工作部
長より云はれたるも心中之を信ずる能はず常に疑々々々工作終
は殺さるるものなりと考へ居たるも崔賢麗射伐の際監視の工作員
も附せず而も旧部下を武装して配屬せられ自由に行動せしめられ
たる際始めて工作部長の宏大無辺の誠意を了解し得たり本射伐間
部下中其の續逃亡するを可とすと意見具申せるものありしも自分
は工作部長の信頼と誠意に反す能はずと部下を諭し彼等を叱咤督
勵崔賢麗の射伐に精勵せりと

右に依り逮捕せられたるものの心理を窺ふを得べし

其投降帰順逮捕又は通匪者或は我に敵意を有する者を死刑とするは政治的見地より判断するときは害ありて益なし

滿洲建國以來通匪者共匪馬賊等処刑せられたるもの多數あるも結果的に之を見るときはマイナスと云ふを得べし即ち人間一名を殺せば彼の親戚友人等少くも百名、民衆の信望あるものに至りては數千數萬の敵を作る結果となるものなり

例へば關東軍に於て興安北省の省長陵某なるものを通匪の理由に依り死刑とせることあり然るに本省長はブリヤート蒙古人より非常に信頼せられある人物なりしを以て該省長を死刑にせる結果従来日本に好意を有せしブリヤート蒙古人は日本人は然しき人間なりとし爾來日本人を敬愛し信頼せざるに至れり即ち通匪せる一省長を死刑とせし結果会ブリヤート蒙古人を敵とする結果を招來し政治的に多大の損失を被れり斯くの如き事例は甚だ多し

本討伐間に於ては投降帰順逮捕せしものは前非の如何を問はず之を

許し之を殺すことなく生かして使用することとせる結果討伐肅正の進展に伴ひ敵匪の團結を破壊し其の分裂を促進し治安肅正を加速度的に増進せる所大なり

之を要するに処罰するに方りては一方的判斷のみに依ることなく被処罰者に対し一般民衆は如何に考へあるかを良く判斷し実施するを要す特に單なる報復的思想により処罰するは何等の益なく却て一般民衆の反感を挑発し政治的に多大の損害となることを顧慮するを要す

六 匪團の分裂促進の爲採用せし手段中有效なるもの左の如し

人口傳宣傳

敵匪の諜者等の潛入する處ある賭博場、料理屋、風呂屋、旅館等に於て秘密なりと稱し敵側に洩しやすき人間に傳ふるときは容易に敵匪側に傳へらるるものなり

例へば船頭を勸告するも願ぜざる匪團中の有力分子某は船頭交渉中にて近く船頭するならんと秘密なる如く粧ひ之を傳ふるときは

之が匪團に傳り其の人物は疑はるることとなり匪團の團結を破壞し分裂を招来する結果となること多し

2. 偽書信の利用

右と同様の主旨に依り某匪に對し我方より出せる書信或は某匪より我方に送れる如き偽書信を作成し之を匪の通過を予想する地点に落し置くが如し該書信匪賊の手中に入るや前項と同様の結果を生ず

3. 繪圖又は寫眞に依る帰順宣傳

政界帰順し來り我方より好遇を受け良好なる被服及帰郷旅費を受領し郷に帰り一家團樂の生活狀況繪圖又は寫眞とし飛行機により空中より或は匪の通過を予想する地点に散布す

之を入手せる敵匪は何等の樂なき匪團の生活を厭い郷郷の念を生じ投降帰順するに至る

七. 情報の蒐集

帰順投降匪を調査し匪團の内部狀況、匪團の編成、裝備、給與、士氣

0575

企圖、匪賊幹部相互の感情、彼等と連絡ある部落又は民衆等一を知り或は山中又は密林内に於ける地形特に匪道を諜知し彼等をして匪の潜伏地急襲の爲誘導に任せしむる等情報蒐集上工作家の功績は多大なるものあり

其の五 其の他

一 治安連絡委員會の運用

ノ 東南地區臨時治安委員會

本委員會は討伐司令部所在地たる吉林に於て概ね一箇月一回開催し委員長より治安肅正に關する方針対策注意事項等を指示する外政府より參列せる委員より所管事項につき指示又は説明し治安肅正に關する事項を審議決定す又各省委員より担任地區内の匪情治安肅正狀況等を説明し委員長又は中央より來れる委員に対し要望意見を具申し又は省相互の連絡協調を計る

又各省相互に治安肅正の爲採用し效果ありと考ふる事項を發表し

相互の参考に資す

本委員會は中央政府の治安肅正に關係ある官庁並に特種會社等より委員出席しあるを以て中央官庁は治安肅正の状況を常に承知し本會に於て決定又は要請せる事項は繁雜なる書類による申請等を省略し速かに処置し実行に移すを得多大の便宜を得たり

又各省は相互の治安肅正状況を知るを以て互に諒解心増を生じ各省幹部は一般政務を放擲し自ら第一線の陣頭に立ち民衆と勞苦を共にし治安肅正工作の實行に邁進するの風潮を招來せるは本委員會運用の妙を得たる結果と云ふも過言にあらず

2 各省治安連絡委員會

本委員會は各省公署所在地に置き討伐隊省公署各県治安主任者其の他の委員集會し概ね毎月一回又は必要に應じ東南部臨時治安連絡委員會と同様主旨により開催す

本委員會には必要に應じ討伐司令部より討伐司令官又は主任幕僚出席し省各県の治安肅正状況を承知し且つ討伐司令部の要請又は

注意事項を指示し上下相互の連絡協調、意志の疎通を計る

各県競争的に治安肅正工作に邁進するの風を招来せしむること東南海

治安連絡委員会に同じ

3 各県治安連絡委員会

省治安連絡委員会と同様主旨にて開催多大の効果を上ぐ

一 特務情報會議

討伐司令部主任參謀兼特別工作部長北郷中佐主宰し概ね毎月一回吉

林に於て各省特務情報關係者、日滿憲兵隊特務關係者、各軍管區情

報將校、各討伐隊情報將校並に討伐司令部憲兵隊長、同警察幕僚、

最高檢察庁派遣員等出席し共產黨反滿抗日關係情報等に關し情報を

交換し相互の連絡を密にす

此の聯絡情報蒐集に關し主宰者より方針指示注意を與へ情報活動に多

大の成果を發揚せり

三 雜 件

現行犯懸賞の裁判に關し民衆を參加せしむる件

部落を襲撃し暴行掠奪を逞にする土匪は滿洲に於ける名物とも稱す
べきものなり

彼等の裁判を民衆を度外視して法廷に於て処断するも民衆に與ふる
效果は甚だ少し由て本討伐間斯くの如き裁判には民衆の意見を參酌
し現地に於て裁判を公開直ちに処断することとせり